

5	下水道局	良好な水環境と環境負荷の少ない都市を実現する施策																																	
事業概要	下水道事業は、日々の暮らしや都市活動で発生する汚れた水をきれいにして河川などへ放流することで、水環境を保全する重要な役割を担っている。一方で、区部の大部分は汚水と雨水を一つの下水道管で流す合流式下水道で整備されており、大雨が降ると、市街地を浸水から守るために汚水混じりの雨水が河川などへ放流されるしくみとなっている。また、下水処理水に含まれる窒素・りんは東京湾の赤潮の発生要因の一つにもなっている。 このため、東京湾や河川などの水質をより一層改善し、良好な水環境を創出するため、雨天時に放流される汚濁負荷量を削減する「合流式下水道の改善」、窒素・りんを一層削減する「処理水質の向上」などの事業を着実に推進する。また、エネルギー・地球温暖化対策を推進することで、エネルギー使用量や温室効果ガス排出量の削減にも積極的に取り組み、良好な水環境と環境負荷の少ない都市の実現に貢献していく。																																		
これまでの経過	【合流式下水道の改善】 ・下水道法施行令への対応に必要な対策を令和5年度末までに完了 ・水が滞留しやすい河川区間など14水域において、水辺環境を活かしたまちづくりが進められているエリアで優先的に貯留施設の整備を行うなど、水質改善を推進 ・貯留施設の整備とあわせて、関係区などと連携し、公共施設や再開発地区などでの部分分流化を推進 【処理水質の向上】 ・各水再生センターの抱える課題に合わせて、高度処理及び汚泥処理返流水中のりん除去施設等を導入し、効果的に処理水質の向上を図る ・施設や設備の再構築にあわせた整備など、効率的に対策を推進 【エネルギー・地球温暖化対策】 ・2030年カーボンハーフ実現に向けて、徹底した省エネルギーなど「アースプラン2023」に基づく取組を推進																																		
現在の進行状況	【合流式下水道の改善】 <table><tr><td>区部下水道事業の取組</td><td>単位</td><td>目標数値</td><td>令和4年度末</td><td>令和5年度末</td></tr><tr><td>貯留施設等の貯留量</td><td>万 m³</td><td>280</td><td>150</td><td>170</td></tr></table> 【処理水質の向上】 <table><tr><td>区部下水道事業の取組</td><td>単位</td><td>目標数値</td><td>令和4年度末</td><td>令和5年度末</td></tr><tr><td>高度処理と準高度処理を合わせた能力</td><td>万 m³/日</td><td>634</td><td>417</td><td>436</td></tr></table> ・令和5年度の主な内容 砂町水再生センターの準高度処理施設など 【エネルギー・地球温暖化対策】 <table><tr><td>下水道事業の取組</td><td>単位</td><td>目標数値</td><td>令和4年度末</td><td>令和5年度末</td></tr><tr><td>水処理工程及び汚泥処理工程で省エネルギー型機器を導入した台数</td><td>台</td><td>510</td><td>371</td><td>393</td></tr></table> ・令和5年度の主な内容 南部汚泥処理プラントの省エネルギー型濃縮機の導入など					区部下水道事業の取組	単位	目標数値	令和4年度末	令和5年度末	貯留施設等の貯留量	万 m ³	280	150	170	区部下水道事業の取組	単位	目標数値	令和4年度末	令和5年度末	高度処理と準高度処理を合わせた能力	万 m ³ /日	634	417	436	下水道事業の取組	単位	目標数値	令和4年度末	令和5年度末	水処理工程及び汚泥処理工程で省エネルギー型機器を導入した台数	台	510	371	393
区部下水道事業の取組	単位	目標数値	令和4年度末	令和5年度末																															
貯留施設等の貯留量	万 m ³	280	150	170																															
区部下水道事業の取組	単位	目標数値	令和4年度末	令和5年度末																															
高度処理と準高度処理を合わせた能力	万 m ³ /日	634	417	436																															
下水道事業の取組	単位	目標数値	令和4年度末	令和5年度末																															
水処理工程及び汚泥処理工程で省エネルギー型機器を導入した台数	台	510	371	393																															
見通しの今後	各施策の事業については、経営計画2021に基づき引き続き着実に推進していく。																																		
問合せ先		下水道局 総務部 理財課		電話	03-5320-6527																														